

## 専門解説

# 「テレワーク導入」実務上の留意点

～アフターコロナも継続，拡充していくために～

社会保険労務士法人 日本中央社会保険労務士事務所 内海 正人

### ■ 時間をかけずに導入しよう

新型コロナウイルスの感染拡大が引き続き懸念されるなか、今後は、このウイルスとの共生も考えないといけない時代になりました。今までの「通勤して出勤する」といった常識が、根底から大きく覆る事態となってきました。その結果、テレワークや時差出勤といった取り組みが進んでいます。「働く人の健康と安全を守る」ことは会社の義務でもあるため、このような対応は賢明な判断といえるでしょう。

しかし、今回のように緊急性を伴う場合、「在宅勤務に切り替えたくても、どうすればよいか分からない」「テレワークを実施したくても準備に時間がかかりそう…」と、なかなか実行できずにいる職場も数多くあるでしょう。そこで本稿では、「在宅勤務」などテレワークをスピーディーに導入するにはどうすればよいのか、運用の継続のためには何が必要か、ポイントをまとめます。

### 目次

- Q1. ここが重要！  
テレワーク導入の目的とは？
- Q2. 失敗しないテレワーク導入のポイントとは？
- Q3. ここがポイント！  
テレワークの始業，終業の管理とは？
- Q4. 実は盲点！  
テレワークでの長時間労働を防ぐには？
- Q5. テレワークと労働基準法の関係は？
- Q6. テレワークでは難しい？  
人事評価のポイントとは！
- Q7. テレワーク導入のメリットとは？
- Q8. セキュリティ問題はこれで解決？  
クラウドを利用しよう！
- Q9. テレワークの規定では  
何を押さえればいいのか？

### ● 内海 正人（うつみ まさと） 特定社会保険労務士



神奈川県生まれ。総合商社の金融子会社にて法人営業、融資業務、債権回収業務を行う。その後、人事コンサルティング会社を経て、平成15年日本中央会計事務所へ合流、日本中央社会保険労務士事務所代表、現在に至る。退職金コンサルや人事コンサルティングおよびセミナーを業務の中心として展開。現実的な解決策提示を行う現場派社会保険労務士。特に労働問題・退職金問題については数少ないエキスパートの1人として定評がある。

主な著作：『仕事は部下に任せよう』（アスカビジネス）、『社労士 絶対成功の開業術・営業術』（インデックスコミュニケーションズ）、『仕事と組織は、マニュアルで動かそう』『売上・利益を上げる上手な人の採用の仕方、辞めさせ方』（クロスメディア・パブリッシング）、『管理職になる人が知っておくべきこと』（講談社）、『上司のやっばいはいけない！』『会社のやっばいはいけない！』（クロスメディア・パブリッシング）

<https://www.roumu55.com/>（労使トラブル）

■ 事務所名：社会保険労務士法人 日本中央社会保険労務士事務所  
■ 電話番号：03-3539-3047

■ 所在地：東京都港区西新橋1-16-5 コニシビル4階

■ e-mail：utsumi@j-central.jp